

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備：定額法

什器備品：定額法

ソフトウェア：定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	84,727,000	17,278,601	0	102,005,601
奨学金準備資金	11,880,000	0	1,080,000	10,800,000
合計	96,607,000	17,278,601	1,080,000	112,805,601

3. 特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
普通預金	102,005,601	102,005,601	0	0
奨学金準備資金	10,800,000	0	10,800,000	0
合計	112,805,601	102,005,601	10,800,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,365,000	590,015	1,774,985
什器備品	214,800	22,375	192,425
合計	2,579,800	612,390	1,967,410

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし